

「汎発性腹膜炎を伴う虫垂炎に対する腹腔鏡と開腹手術の比較検討」へのご協力をお願い  
—西暦 2015 年 4 月 1 日～西暦 2024 年 3 月 31 日の間に当科において汎発性腹膜炎を伴う虫垂炎に対して腹腔鏡手術または開腹手術を受けられた方へ—

研究機関名 国立病院機構岩国医療センター 外科  
研究責任者 青木秀樹

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景及び目的

虫垂炎は、大腸の一部である盲腸の虫垂と呼ばれる部分に炎症が生じている状態です。炎症が腹膜に波及すると「腹膜炎」という状態になり、腹腔全体に炎症が広がった状態を「汎発性腹膜炎」と呼びます。急性虫垂炎の治療法としては、抗生剤加療による保存的治療と虫垂切除を行う手術療法のいずれかが選択されますが、「汎発性腹膜炎」を合併する場合は手術療法が選択されるのが一般的です。虫垂切除は、腹腔鏡手術と開腹手術があり、腹腔鏡手術は開腹手術に比べて手術時間が増加する一方で、創感染や腸閉塞などの術後合併症を減らし、術後在院日数を短縮させるとされています。「汎発性腹膜炎」を伴った症例においてはいずれの術式が適しているかに関しては議論の余地があり、術前の全身状態や採血・画像結果、医療機関の状況など鑑みて総合的に判断されています。「汎発性腹膜炎」を伴った急性虫垂炎に対する腹腔鏡手術と開腹手術を比較検討し、それぞれの利点・欠点を明確にすることで、個々の症例にあつた的確な術式選択が可能になるのではないかと考えています。

### 2) 研究の意義

汎発性腹膜炎を合併した急性虫垂炎での適切な術式選択が可能となり、早期退院・早期社会復帰できる可能性がある。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2015 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に当院において汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎の症例を研究対象と致します。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～西暦 2025 年 12 月 31 日

### 3) 研究方法

2015 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に当院において汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎の症例のカルテ情報を取得し、解析を行います。

### 4) 使用する試料

この研究では試料を使用しません。

### 5) 使用する情報

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの氏名、生年月日等の個人情報には匿名化して、情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、既往歴、診断名、診断日、手術日等の基本情報
- ・診察所見、治療内容
- ・血液検査、細菌培養検査、CT 検査等の画像検査、病理組織診断などの検査データ

#### 6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存させていただきます。調査情報は岩国医療センター内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、研究倫理審査専門委員会の承認を得た方法でお知らせします。

#### 7) 研究計画書および個人情報の開示

この研究はあくまで研究として行い、あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、西暦2025年6月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

氏名：青木秀樹

所属：国立病院機構岩国医療センター

電話：0827-34-1000

ファックス：0827-35-5600

ホームページアドレス：<https://iwakuni.hosp.go.jp/section/clinical-study-part.html>